

平成30年5月16日

平成29年度 特定非営利活動法人UNE 事業報告書

I 総括

特定非営利活動法人UNEの活動7年目の年、障害者のしごと起し、高齢者の生甲斐づくり、生活保護者の居場所づくりを通して地域(一之貝及び荷頃地区)の活性化を図ることを目的に各種補助金、助成金事業を活用し以下の事業を実施した。

なお、平成30年度での寄付行為による税控除が受けられる「認定NPO」の申請に向けての経理、労務、情報発信等の資料の取りまとめに取り掛かった。

II 事業実績

1. 地域活動支援センター運営事業(長岡市補助事業)

①障害者

月曜日から金曜日までの週5日、一之貝と千秋が原信濃川河川敷を活動場所として農作業を中心とした活動をした。

昨年度「地域活動支援センターUNEHAUS」の障害者の利用者総数は、1,794人日、開所日数は238日で、1日の平均利用者数は7.53人であった。



②生活保護受給者

4年間実施している生活保護者のボランティア活動の一環で29年度は6～8名の受入れを実施、週4回 UNE の活動を手伝って貰うべく、長岡駅東口から送迎し UNEHAUS に集う障害者、高齢者と共に働き活動した。障害者や高齢者に対しては、作業の指導や送迎時の運転など、職員同様の役割を担って呉れた。

③平成29年度の市民ボランティア

UNEHAUSで活動した有償ボランティア(障害者、生活保護受給者、高齢者)の延べ参加日数・人数は1,235日人であった。

2. 農業生産・加工事業及び販売(共同募金助成金を活用)

☆農業分野(平成25年2月28日県内初、NPO 法人認定農業者となる)

①田んぼ(一之貝地区)

- 🚩 お布団農法(コシヒカリBL)の取組(10a)(収穫20kg クズ米15kg※水管理が上手く行かず失敗)
- 🚩 コシヒカリエコ-55の栽培(113a)
- 🚩 亀の尾の栽培(15a) ※どぶろくの原料用米
- 🚩 幻のもち米「大正餅」栽培(12a)
- 🚩 従来コシヒカリ栽培(10a)※食味コンテスト用
- 🚩 農林22号(3a)※どぶろくの原料用米
- 🚩 食味検査への出展・・・長岡、大阪、国際大会、静岡の4コンテストに出品したが、残念ながら入賞できなかった。
- 🚩 田植え後の水不足、登熟期の日照不足等の影響で品質の低下、減収となる。(栃尾地域 平年より約2割減収) 160a 67俵の収穫
- 🚩 クロモジ畑の管理:耕作放棄地を活用してのクロモジの栽培(3年目)



②畑(千秋地区及び一之貝地区)

☆千秋が原:河川敷の使用許可=河川協力団体に認定(平成28年3月15日)

- 『福祉・市民 体験農園』開設に向けての取組への検討を行った。(農水補助事業)
- 本年初めて「マルシェ青空」より、レインボーコーン、ハロウィンカボチャ、宇宙芋、タイガーナッツの作付けを行った結果として栽培技術の未熟さと雑草管理の不良により125,000円の収入にとどまった。
- 農水省の補助金で千秋河川敷1ヘクタールの天地返しを実施し、来期の「福祉市民体験農園」開設の準備を行った。(農水省補助事業)
- かづらなんばんは栃尾ワークスに苗おこしを依頼し、7月中旬に収穫



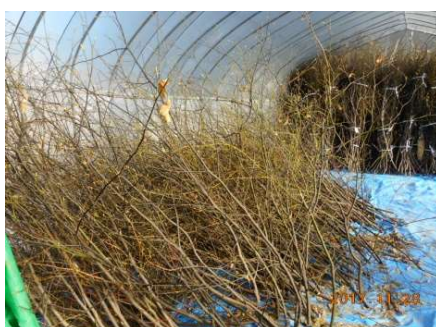
③加工

- 笹団子の製造、梅干しの漬けこみ、神楽南蛮味噌の製造等を行った。
- 地元の協力を得、製造品目、計画的な生産を目指した工場の稼働率の向上。
- 月1回~2回、自家製うどんの製造を行い、給食のメニューとした。
- 「お茶の大門」と協働でくろもじ茶の製造販売を開始。HPで販売する他、新潟駅、長岡駅の「ぼんしゅ館」に納品を開始。「ぼんしゅ館」では12月から3月までで140パック63千円の売上を獲得した外、2月に行われた「新潟お茶フェス」にも参加し認知度を高めた。
- 新規に総菜の製造免許取得



④販売・イベント

- UNEHAUS及び中沢直売所の運営(7月から10月開店)
- JA越後ながおか「なじら〜て美沢店」への出品(梅干し、神楽南蛮味噌)
- アオーレ(山菜マルシェ、酒の陣、ドイツフェスト、市民活動フェスタ)千秋が原ふるさとの森クラフトフェア、東京日本橋の「ブリッジにいがた」(越後ながおか物産市)、立川駅南口秋祭、立川競輪感謝祭、道の駅(感謝祭)、新潟市メディアシップでのお茶フェス、各イベント参加
- どぶろくの販売(道の駅290はーもにー、駅ビルココロくぼた屋、新潟駅ビルくぼたや、長岡市北山サンマート(新規)、蕪澤酒店(新規)、栃尾ますや(新規)居酒屋なじらてい及び各種会合への引き出物として販売)
- HPの拡充、酒類の通信販売免許取得



3. 農業サービス事業

- 笹は3年目、6・7月の笹の採取、採取のスピード、収量も年々向上している。笹は、29,600枚、(近藤産業に全

量出荷)前年度を3割程上回った。

- クロモジは4年目で、11月～12月初旬のクロモジの採取を行った。クロモジは、稲刈りが遅く、そして降雪が早かったため、昨年の半分の収量1,540kgを収穫、養命酒に販売した。格納していたビニールハウスが雪のため倒壊した。



4. 障害者の仕事となりうる各種請負事業

☆地域に根ざした請負作業:雪下ろし、農作業の手伝い、草刈り

- 12月から降り始めた雪は勢いを衰えさせず、山間部、街中ともに豪雪となった。
- 今年は特に栃尾市街地からの除雪依頼が多く8件。また、一之貝、北荷頃地区では23件の依頼があった。
- 千秋が原:公園管理の手伝(ペンキ塗り)29年3月～4月間7日間、夏期期間の夜周(長岡緑地環境協同組合)8月計3日間。
- 花苗移植1日間(にいがた花壇)
- アパートの清掃及び修理(家老ビル)外壁ペンキ塗り、直売所2階片付け等
- 大平山整備(大平山親緑会)
- 今年度から、栃尾斎場の除草等、街路樹の選定手伝い、公園・歩道管理、新規の請負が増え、H29 4月～H30年 3月まで計43日間の作業を行った。(万松園)
- 新潟空港脇自衛隊官舎の草刈り2回(ハイハイネット)
- 園芸福祉にいがた事務委託(通年)



5. 農村と都市との交流事業

- 8月下旬には東京中野区の幼稚園の受入れをした。
- 各種イベントの開催:稲刈り、信濃川河川敷遊び塾
- 各種クウカイの開催:新米・もち・キノコ等



6. 地域活性化事業

①協議会事業

- 平成28年度は5月31日より活動を開始した「北荷頃・一之貝・軽井沢集落連携促進協議会」の事務局を29年度も担当。協議会の事業の農林水産省の農山漁村振興交付金事業を活用して、10月には農福連携フォーラムを開催。農福連携の他、医療機関との協働を検討した。又、2月には古民家再生フォーラムを行い、古民家を切り口とした地域づくりととごと起こしの提案を行った。
- 一之貝区、北荷頃区のお祭り等の行事に参加。



- ✚ 地区区長会の開催会場としてUNEHAUSを利用して貰ったり、地区の防犯交通運動、公民館活動等の事業に参加したりした。
- ✚ 一之貝での共同草刈り、道路普請、水路の江浚、愛村デー、北荷頃の排雪溝掃除、愛村デーなどにも積極的に参加した。
- ✚ 一之貝中山間地組合との連携・地域活性化を推進、田植え祭り、稲刈り祭りなどに参加した。



②資源回収

一之貝軽井沢、北荷頃それぞれ奇数月5回ずつ実施し、特に高齢者や体の不自由な人たちから喜ばれた。5月より請負業者が江口佐五七商店に変更になった。

7. 農村からの情報発信事業

①視察研修受け入れ、講演

月山福祉会(山形県)、霞が関幹部候補生(長岡市を通じて)、新潟県連合中越主催の訪問団、岩手県遠野市議会議員、損保ジャパン福祉財団、大平会、農林水産所北陸農政局(2件)など様々な視察研修の受け入れを実施した。また、長岡市中央公民館、栃尾栄町区会、長岡市国際交流協会、ピアファームなどからのセミナーや講演会での講師依頼があり参加した。



②広報

新潟日報、とちおタイムス、日本農業新聞、全国農業新聞、毎日新聞、NCT、NSTで報道される。

なお、日本農業新聞北陸版に6週に1回の割合で、代表理事が「おりおり」という随筆コーナーに5月まで投稿した。



③広報誌の発行

「北荷頃・一之貝・軽井沢集落連携促進協議会」の広報誌「きたいちかる」月刊発行部数850部にUNEのイベントや活動を紹介する記事を掲載したほか、特定非営利活動ウネのHP、Facebookにてイベント、日々の出来事などを随時広報した。

④幟の作製

昨年作製し好評だった北荷頃、一之貝、軽井沢の幟旗を地元の意見もあり農村漁村進行交付金を活用して昨年度に引き続き今年度も作製した。



8. 農産品特産品の料理提供で障害者就労を創出する飲食事業

☆給食事業の拡充(平成24年3月に飲食業の営業認可取得済み)

- ✚ 1日平均食数は約19食(4,046/年)。開業日数は237日、その他イベントやお茶会、宴会などで900人が来訪し、年間総来訪者数は5,300人がUNEHAUSで飲食をした。

- ✚ 交流人口を増加させるために積極的な広報宣伝活動:地域・長岡市街からも集客を行った。来客者数(4,400食の内、スタッフを除いた数)の総数は1,250人で全体の28%、その内訳は村内31%、村外の市内50%、県内9%、そして県外9%であった。
- ✚ 調理員は、一之貝から3人、北荷頃から2人の計5人の方が、週2回を目途に給食作りに来て貰っている。
- ✚ 給食事業は、毎週平日月～金、12:15～12:45実施した。

9. 送迎事業

☆日常のボランティアの長岡駅～一之貝間の送泥、買い物送迎(毎月 第2、第4木曜日午後)、通院送迎(随時)、温泉送迎等を通じ地域の高齢者の見守り、生活支援等を実施した。

- ✚ 買い物送迎人数 年間14名(原信美沢店、川崎店他)
- ✚ 通院送迎人数 年間76名(荒井医院、中央病院、日赤病院他)
- ✚ 温泉送迎人数 年間27名(おいらの湯)

10. 障害者の仕事となりうる各種人材派遣事業

農山漁村振興交付金事業で立ち上がった北荷頃・一之貝・軽井沢集落連携促進協議会の事務局をUNEの事務所内に昨年同様併設すると同時に、代表理事が協議会の事務局長を兼任した。

その他、協議会が実施するイベントにUNEの市民ボランティア(障害者、高齢者、生活保護受給者)を派遣した。

11. 農家民宿事業

- ✚ 「KS☆HAUS」の運営
- ✚ 荷頃駐在所となり新たな活動拠点「KS☆HAUS」を新たに借り入れ9月にオープニングイベントを開催。来年度に施行される民泊新法に沿った運営を検討、開始する。
- ✚ 各種研修への参加
- ✚ 首都圏で行われた先進地研修発表会に参加。その他関西圏で先進的な取り組みを行っている集落丸山、京都府和東町へ視察研修を行った。
- ✚ 第2の実家:一之貝で生まれ育ち首都圏や中京圏で暮らしておられる方々へ、ふるさとの絆を残して欲しいとの期待から、昔の学校や風景などの写真を活用した A4資料を作成し3月に600人宛て発送した。



12. どぶろくの製造及び販売

- ✚ 平成29年度の生産量は670L、平均アルコール度数は12.1%であった。蒸米39%、米粉61%であった。また売り上げとしては約130万円であった。
- ✚ 今年初めて実施した仕込み体験はわずか2名であったが非常に好評で、今後期待が出来る。
- ✚ どぶろくの製造販売に関する調査研究(新潟県醸造試験場、新潟県どぶろく研究会に参加した。)



13. その他、第3条の目的を達成するために必要な事業特になし

以上